



THE MAUREEN AND
MIKE MANSFIELD FOUNDATION

Connecting People and Ideas to Advance Mutual Interests in U.S.-Asia Relations

モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団ニュースレター 2022年12月29日

今年もモーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団の活動にご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございました。
来年も財団の活動にご理解、ご協力を賜わりたく、引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。
皆様におかれましてはどうぞよい新年をお迎えください。

目次

- [マンズフィールド財団東京事務所 正規職員採用のご案内](#)
- [米国大使公邸レセプション](#)
- [マンズフィールドフェロー近況報告](#)
- [他財団プログラムの活動報告](#)
- [報道・発行物のご案内](#)
- [プログラム参加者募集のご案内](#)
- [イベントのご案内](#)
- [第27期マンズフィールドフェロー紹介メッセージ\(1\)](#)

マンズフィールド財団東京事務所 正規職員採用のご案内

マンズフィールド財団東京事務所では現在、正規職員(総務・プログラムアシスタント)を募集しています。
詳細については[こちら](#)をご覧ください。締切は1/31です。

米国大使公邸レセプション Ambassador-Mansfield Dinner

12月14日、第26期マンズフィールドフェロー、日本在住同窓フェロー、マンズフィールド財団の支援法人会員、政府関係者らが米国大使公邸に一堂に会し、ラーム・エマニュエル駐日米国大使のご臨席のもと、モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団の活動を祝うレセプションが行われました。



エマニュエル駐日米国大使 挨拶



ジャヌージ マンスフィールド財団理事長



第 20 期フェロー ジェフリー・キム氏による乾杯



マンズフィールドフェロー近況報告

[マンズフィールド・フェローシップ・プログラムについて](#)

第 26 期フェローの前半半年(2022 年 7 月～12 月)

2022 年 7 月・8 月 渡日・日本語研修(於石川県金沢市)・研修前オリエンテーション



馳浩石川県知事に表敬訪問



金沢研修にて



歓迎レセプション(於飯倉公館)9/1

[\(参照\)人事院 HP マンスフィールド研修](#)

GRIPS-マンسفールド合同セミナー・シリーズ開催

12月6日、[政策研究大学院大学 \(GRIPS\)](#)とマンسفールド財団の本年度第1回目の合同セミナーが行われ、第26期マンسفールドフェローのティン・メイ・チャウ(米国国土安全保障省 連邦緊急事態管理庁 連邦保険・被害軽減部ファンド管理 予算部長)が、「防災・危機管理: 米国の災害管理と復旧に関する概要及び日本との比較」と題しての講義を行いました。GRIPSの菅原賢教授がモデレーターを務める中、質問が活発に飛び交う充実したセミナーとなりました。

熊本大学とマンسفールド財団の連携講義シリーズ開催

12月9日と12月16日、[熊本大学](#)とマンسفールド財団が学生向けに行っている連携講義シリーズ(全3回)の第1回と第2回がそれぞれ熊本大学にて行われました。第1回は、第26期マンسفールドフェローのリリ・デュアン(米国食品医薬品局(FDA)医療機器・放射線保健センター 製品評価及び品質室 規制プログラム室 政策分析官)がFDAについて講義し、またアジアで生まれ育った彼女が米国でキャリアを築く話を通し、米国で生きるアジア系米国人が直面する課題や気づきについて語り、学生たちにエールを送りました。第2回は、同フェローのキャサリン・クック(アメリカ航空宇宙局(NASA)ゲートウェイプログラム 深宇宙探査ゲートウェイ・プロジェクト室 運用分析官)がゲートウェイと呼ばれる宇宙船について、過去からの課題や教訓と未来の成功に向けてのアプローチについて論じました。

熊本大学 [Twitter](#) | [Facebook](#) | [Instagram](#)

第26期マンسفールドフェローによる敦賀訪問レポート

第26期フェローのジェームズ・カイル・武雄・有田が、9月に研修のため配置されていた外務省の出張で訪れた福井県敦賀市の魅力を、英語と日本語でレポートしました。是非、ご覧ください。



[英語](#)

[日本語](#)

第26期マンسفールドフェロー: 研修中・日本理解セミナー実施

- ◆9月27日、第5期フェローのデビッド・ポーリング氏(ユーラシアグループ 日本・アジア通商担当ディレクター)が日本の行政機関で働くための心構えや実地的な知識を自身の経験をもとにフェローに助言しました。
- ◆10月11日、東京大学の藤原帰一教授をお招きして、日本政治理解についてのセミナーを実施しました。
- ◆11月29日、早稲田大学の中林美恵子教授をお招きして、日本政治・政党などについてのセミナーを実施しました。中林教授は[マンسفールド財団の名誉フェロー](#)。



デビッド・ボーリング氏



藤原帰一教授



中村美恵子教授

第 27 期マンスフィールドフェロー: 渡日前・日本理解ウェビナー実施

◆10月11日(米国)、コロンビア大学のジェラルド・カーティス名誉教授をお招きして、日本の政治についてのウェビナーを実施しました。カーティス教授は[マンスフィールド財団理事会会長](#)。

◆11月30日(米国)、ワシントン・カレッジのアンドリュー・オロス教授をお招きして、日本の高齢化社会と安全保障問題についてのウェビナーを実施。オロス教授はマンスフィールド財団の[日米次世代パブリック・インテレクチュアル・ネットワーク・プログラム](#)(第2期)および[ルース・アジア・スカラー・ネットワーク・プログラム](#)(第1期)の参加者。

第 28 期マンスフィールドフェロー: 選考会実施

11月中旬(米国)、2023年7月～2025年6月の2年間にマンスフィールドフェローとなる10人の選考会を実施しました。1年目は米国にて日本語および日本理解のセミナーを受講し、2年目2024年7月に渡日予定。第28期マンスフィールドフェロー詳細については後日発表予定です。

同窓生マンスフィールドフェロー活動報告

◆第20期マンスフィールドフェローのジェフリー・J・キム氏(元米国海軍大佐)が7月2日に[日米教育委員会\(フルブライト・ジャパン\)の事務局長に就任](#)しました。

◆第5期フェローのデビッド・ボーリング氏(ユーラシアグループ 日本・アジア通商担当ディレクター)が9月28日に行われた世界のソートリーダーによる世界的課題について議論する GZERO SUMMIT Japan 2022 に登壇しました。(サミットのライブストリームは[こちら](#)から視聴可。)

他財団プログラムの活動報告

[日米次世代パブリック・インテレクチュアル・ネットワーク・プログラム](#)

2022年夏から2024年夏まで本プログラムに参加する第6期スカラーが8月に発表されました。8月31日から9月2日かけてワシントンDCで行われた第5期スカラーのプログラム総括シンポジウムに合わせて、第6期スカラーのワークショップも同時開催されました。

[第6期スカラー発表ニュースリリース\(日本語\)](#)

[第6期スカラーのプロフィール\(日本語\)](#)

マンスフィールド-PhRMA 研究者プログラム

マンスフィールド財団は医薬に携わる日本の若手研究者 8 人からなる本プログラムの第 8 期スカラーを 8 月に発表し、9 月 11 日から 9 月 25 日の 2 週間にかけてワシントン DC、フィラデルフィア、ボストンでトランスレーショナル研究等を行う関連医療機関や行政機関、シンクタンクとの会合や視察を行う米国研修ツアーを実施しました。

第 8 期スカラー発表ニュースリリース(日本語)



他財団プログラムのイベント

◆10月20日、[日米宇宙フォーラム](#)関連の公開イベント「南シナ海における宇宙技術と海洋状況把握」が慶應義塾大学三田キャンパスにて開催されました。

◆12月13日、財団の日米サイバーセキュリティ関連事業の公開イベント「日米同盟を活用したサイバー人材の育成」が東京大学本郷キャンパスにて開催されました。

上記の両イベントは在京米国大使館のご支援のもと、マンスフィールド財団の主催で行われました。



南シナ海における宇宙技術と海洋状況把握



日米同盟を活用したサイバー人材の育成

CFM(コーポレート・フレンズ・オブ・マンスフィールド)政策会合

12月14日にマンスフィールド財団のCFM政策会合が国際文化会館で行われ、NTTニューベンチャー&イノベーショングループ・バイスプレジデントの中澤里華氏をお招きし、サイバーセキュリティの現況、また企業の社会的責任(CSR)やESG(環境・社会・ガバナンス)投資がどのように同分野における様々な人材の確保に役立つのかについて、企業会員にお話しいただきました。



財団理事会が林外相を表敬訪問

10月25日、[マンスフィールド財団理事](#)一行が林芳正外務大臣を表敬訪問しました。



報道・発行物のご案内

■10月31日、マンスフィールド財団名誉フェローの中林美恵子・早稲田大学教授が、竹中平蔵氏との共著による「[挑戦を受ける民主主義と資本主義: ショックセラピー2035](#)」(東京書籍)を出版しました。

■ マンスフィールド財団理事長のフランク・ジャヌージが共同通信ニュースの取材を受けました。

[“Ex-Biden adviser urges Japan to boost intelligence sharing with U.S.”](#) (11月6日)

■ 12月15日、第26期マンスフィールドフェローのコリン・ティーママンの記事が防衛省防衛研究所の「[NIDSコメント](#)」に掲載されました。

プログラム参加者募集のお知らせ

■ マンスフィールド財団では、「モーリーン・マンスフィールド日米韓女子学生エンパワメント・プログラム ([Maureen Mansfield Women's Trilateral Youth Empowerment](#))」のプログラム参加者を募集中です。(締切 2023年1月10日米国東部標準時)。

応募資格

・日本、米国、韓国に居住する※18~24歳の女子学生(学部・大学院)(※各国籍保持者、もしくは永住が許可されている方)

・1月~7月に毎月1回行われるオンライン・ワークショップおよび2023年8月にワシントンDCで行われる総括イベント(5日間)に参加できる方

同世代の学生と共通する様々な政策課題などについて英語でディスカッションが可能な方

詳細(英語)

下記の[募集案内\(PDF\)](#)または[財団ホームページ](#)をご参照ください。

なお、プログラム参加者には、往復航空券、宿泊費、米国内交通費、食事手当等の支給があります。

問合せ先(英語)

Ari Lee at alee@mansfieldfdn.org

今後のイベントのご案内

■ 2023年1月24日(火曜日)に、GRIPS-マンスフィールド財団合同オンラインセミナー第2回「米国食品医薬品局(FDA)の基礎知識: FDA 認証とは?」(講師: 26期マンスフィールドフェロー・リリ・デュアン氏)が実施されます。以下からお申込みください。

申込登録はこちら: https://grips-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_ZUqjyObRShajeAiDvjfEow

詳細はこちら: [チラシ\(PDF\)](#)

第27期マンスフィールドフェロー紹介(1)

2023年夏に[マンスフィールド・フェローシップ・プログラム](#)で渡日予定の第27期生の10人のうち、今回はアントニオ・アーノルド大尉、マーサ・エングストローム氏、ランス・ギャリソン氏、アンジェリーナ・ロヴェルデ氏、ベス・ワインスタイン氏の5人を紹介します。



現職以前は、パールハーバー・ヒッカム統合基地における第 8 情報中隊 アウトリーチ・情報官として勤務していました。第 8 情報中隊は、無人航空機 (UAV) を介して収集した情報・監視・偵察 (ISR) データを分析し、そのデータを国防総省内外の無数の提供先のために実用的な情報に変換します。インド太平洋地域の同盟国のいくつかは、ISR 用の UAV を模索していますが、ほとんどの国は、プラットフォームが生成するデータを活用する能力がまだ初期段階で、そのため、司令官は、増え続ける中隊のパートナーとのやり取りの中心的役割を果たすべく私のポジションを創設しました。

現在、私はその業務を後輩に引き継いだ後、太平洋特殊作戦軍に異動し、特殊作戦情報局計画部門のパートナー・エンゲージメント・プランナーとして同様の業務を引き続き行っています。

私は、2016 年から 2019 年まで沖縄の嘉手納空軍基の第 909 空中給油中隊の情報支援として勤務しました。沖縄は、地域における米国の国家安全保障目標を達成するに非常に重要な役割を持つため、「太平洋の要石」として知られています。もし空中給油についてご存知なら、「俺ら無しでは誰も何もできない (No One Kicks Ass Without Tanker Gas)」というフレーズを聞いたことがあるかもしれません。もし聞いたことがなければ、これは軍で使われる言い回しで、「空中給油は全ての飛行任務に必要」という意味です。そのため、私が沖縄にいた時期に、沖縄の戦略的位置や私の部隊が地域におけるほとんどの飛行任務行っていたことで、東アジアにおける無数の主要な (そして時に歴史的な) 二国間および他国間の合同演習や抑止作戦に参加する機会を得ることができました。私はまた、沖縄に駐在中、日米二国間リーダーシップ組織を担当し、米国空軍と航空自衛隊の双方の士官の間に関係構築に寄与する多くのイベントを実施しました。このような二国間の違いを埋めるべく行った努力が評価され、私は、元統合幕僚長の岩崎茂氏 (現在は退役) によって 2018 年の日米エア・フォース友好協会 (JAAGA) 賞をいただくこととなりました。それ以来、岩崎氏は私のメンターであり、この度、私がマンスフィールド・フェローシップ・プログラムを応募するにあたって、岩崎氏の助言に多いに助けられました。

私は、自分のキャリアを通して、米国と私たちのパートナーや同盟国、特に日本との間の関係構築の分野で働くことができ、大変幸運だと思っており、マンスフィールドフェローとして、その経験を深める機会を与えられたことに大変感謝しております。フェローとして、私は特に、日本がどのように戦力増強と人口動態の変化に対処するために非対称防衛力を取り入れていくのか知りたいと思っています。東アジアでは、米国の主要な同盟国だけでなく、根強い敵対国においても高齢化社会が進んでいることは周知の事実です。そこで人口動態がどのように今後の国家安全保障に影響し、また今後の世界秩序を形作っていくかという問いは、考慮すべき重要な分野です。しかし、日米同盟は今後も「世界で最も重要な比類なき二国間関係」であり続けると思っています。ですので、その同盟のバックボーンである関係をさらに発展させることを大変楽しみにしています。

マーサ・C・エングストローム 第 27 期マンスフィールドフェロー(2023-2024)

米国保健福祉省 米国食品医薬品局 タバコ製品センター 科学部 保健学者兼評価支部長



私はルイジアナ州の田舎の小さな町(2000 人未満!)で育ちました。子どもの時でさえ、世界にはもっとたくさんがあると知っていました。そして、できる限り多くのことを見て経験したいと思っていました。それから、アジアの数か国を含む 30 か国を旅しました。ところが、マンスフィールドフェローに選ばれるまで、私は日本を訪れる機会を持っていませんでした。

保健学者としてのキャリアを通じて、私は多くのグループや組織と協働する機会がありました。ハリケーンの復旧作業を支援するためにプエルトリコのサンファンに派遣されている間、私は保健省と協力し、喘息予防プログラムの仕事に携わりました。また、カザフスタンのアスタナに住んでいた時は、健康意識の調査を大学生や他の研究者とともに行いました。これらの経験を通

して、私は世界中の文化の違いについて学び、文化を様々な文脈で理解し研究することができました。私は自分と違う国や文化圏で暮らしたり働いたりすることだけでなく、人々とで出会い、友人を作ることを楽しんできました。ですので、マンスフィールド・フェローシップ・プログラムが同様の機会を与えてくれることを確信しており、日本に暮らし、学べることを楽しみにしています。

私の仕事の多くは、タバコが原因の死亡や病気を減らすために注力することです。私は米国のワイオミング州やジョージア州で、タバコ規制プログラムに従事し、また国レベルでは、最初は米国疾病対策予防センター(CDC)で働き、そして現在は、米国食品医薬品局(FDA)で働いています。現職では、FDAのタバコ製品センター科学部の評価支部長を務めています。そこで、リサーチ、調査、タバコ規制を周知させるための評価研究を監督しています。

タバコの使用は世界中で依然として、病気や死亡の予防可能な主要原因の一つです。日米政府は、多くの重要な手法において、タバコ規制の方法が異なります。日米両方の規制当局によって重要な課題は、加熱式製品やニコチンパウチなど最近の市場における新しいタバコ製品の急増です。これらの新しいタバコ製品の規制に関連する日本の課題、成功、および意図しない結果について私が日本での研修中に学ぶことは、将来 FDA によって米国のタバコ規制に情報を提供し、支援するために活用されるでしょう。

ランス・ギャリソン 第 27 期マンスフィールドフェロー(2023-2024)

米国エネルギー省 国家核安全保障局 放射線安全保障部 物理学者



大学時代、地元の道場に足を踏み入れ、すぐに伝統的な日本の武道に夢中になりました。今ではもう 10 年ほど武道の練習をしています。2008 年に、武道の師匠と一緒にトレーニング受けることと武道の歴史や文化を学ぶため日本に行く機会がありました。また大学在学中には、友人が宮崎駿のアニメ「千と千尋の神隠し」を紹介してくれたのがきっかけで、アニメに興味を持つようになりました。好きなアニメは「鋼の錬金術師」です。何年か経ち、これらの関心は日本のマンガ、歴史、言語、文化、食べ物にまで広がりました。私の妻も同じように日本に関心を持ち、2019 年には妻と観光で来日し、文化的な関心を幅広く追い求めました。私たちは特に、京都の東山の歴史と美しさに惹かれました。

2021 年以前、私は自分の個人的な関心と仕事を結びつけることができると夢想だにもしていませんでした。私は原子物理学者ですが、博士号を取得した時、研究室でのキャリアよりも公務員としてのキャリアの方がやりがいを感じられるだろうと判断しました。そこで私は、米国エネルギー省国家核安全保障局で自分のキャリアをスタートさせました。具体的には、放射性物質がテロ行為に使用されるのを防ぐことを目的とした放射線安全保障部で働いています。業務には、物理的なセキュリティ システムのサポート、遠隔監視、法執行機関の訓練、放射性物質の処理、および私の専門分野である

放射性物質の代替技術への変換の促進などが含まれます。

2021年夏、エネルギー省は、マンフィールド・フェローシップ・プログラムの応募情報を全職員に送りました。私は同僚と話し、エネルギー省と日本との核セキュリティおよび基礎科学研究の協同が広範で興味深いものであることを知りました。実際、日本はエネルギー省にとって最強の二国間パートナーです。興味深いコラボレーションとして、核および放射線セキュリティに関する国内および国際政策、核または放射線事故に関する法執行機関の訓練、核および放射線物質の管理、核融合科学、中性子科学、高エネルギー物理学などのトピックがあります。日本への個人的な関心に加えて、これらの専門職の機会があるのに、どうして応募しない理由があるのでしょうか？

今後何年にもわたり、日米が調整をし続けていく関係を築く中で、重要で影響力のある仕事で両国に奉仕する機会を持つことに心から感謝しています。マンフィールド財団が有益な研修先を手配してくれたり、フェローが確実に準備できるように取り計らってくれたり、その全ての支援に感謝しています。そして、皆様にお会いできることを楽しみにしています！

アンジェリーナ・ロヴェルデ 第27期マンフィールドフェロー(2023-2024)

米国エネルギー省 国家核安全保障局 管理予算部 管理分析官



よろしくおねがいします！

私は米国エネルギー省国家核安全保障局で管理分析官をしています。作業過程を改善するための「標準手順作業書(SOP)」の開発およびプログラムオフィスの品質管理慣行評価の支援を行っています。

私は最近まで一年の持ち回り制であるエネルギー副長官室における役員補佐の任務に就いていました。副長官が行う各国からの大使、大臣、首相との何百もの二者会合のスケジュール管理や日本の通産省からの訪問者との儀典調整を行ってきました。また、光栄にもラーム・エマニュエル在日米国大使がエネルギー省訪問時にお会いすることができました。

私のエネルギー省でのキャリアは、国家核安全保障局のグローバル物質安全保障室における大学院生フェローとして始まり、その時は核セキュリティ、放射線セキュリティ、核密輸探知および抑止などに関わるプログラムのためのレポートやメモの情報収集を行いました。その経験の中で特筆すべきは、カザフスタン、中国、南アフリカなどへの出張し、研修ワークショップの支援をしたり、核セキュリティ外交に立ち会ったりしたことです。

エネルギー省に勤務する前は、2013年から2015年の間に中国で平和部隊のボランティアとして、中国南部の貴州省の大学生に英語を教えていました。その前は、ホワイトハウスの大統領人事局でインターンとして、政治任命官選任の支援をしました。

私はタイのチェンマイで生まれ、13年間そこで育ちました。その後、米国の高校に通い、スイスのルガーノにあるアメリカン・スクール(TASIS)で3年生を過ごしました。そしてジェームズ・マディソン大学で国際事情を勉強し、バージニア大学で公共政策の修士号を取得しました。中国北京の清華大学に短期留学もしました。私は英語、タイ語、中国語を話します。

マンフィールドフェローとして、日本政府のグリーン成長戦略を研究し、適用可能な政策を策定して、米国の炭素排出量削減に関するエネルギー省の取り組みに貢献したいです。また、日米間の核安全保障協力について理解を深め、米国連邦政府に適用できる日本の商慣行と品質原則についても知見を深めたいと思っています。

マンフィールドフェローになることをとても楽しみにしています。私はまだ日本を訪れたことがありませんが、日本についてできる限り学ぶことを楽しみにしています。



米国航空宇宙局(NASA)で21年間、データ分散から宇宙船の調達と建造、政策の策定や制定まで様々な仕事に関わってきました。これらの経験から、宇宙の利用と探査は世界的な取り組みであり、NASAは国際的なパートナーなしには成功しないことを学びました。私は、さまざまな宇宙ミッションで日本のカウンターパートと協力したり、日本への出張の際に、国際協力の利点を直接目にしてきました。例えば、NASAの協力の下、経済産業省(METI)のために日本で開発された高度宇宙熱放射反射放射計(ASTER/アスター)機器データインターフェース会議に参加したり、NASAと宇宙航空研究開発機構(JAXA)による地球観測共同ミッションである全球降水観測(GPM)観測所を統合しました。JAXAチームと一緒に6か月間日本で作業したことで、

両国間の強力なパートナーシップと、協力してどれだけ多くのことを達成できるかが示されました。

私は現在、プランクトン、エアロゾル、雲、海洋生態系(PACE)観測所マネージャーで、エンジニア(電気、熱、機械、推進、ナビゲーションと制御、無線周波数など)のチームを率いて、ミッションの機器をサポートする宇宙船の定義、設計、構築、統合に関わる仕事をしています。このミッションには、3つの機器の一つを含め、数多くの国際的な貢献がありました。PACEの無料データは、海洋と大気がどのように二酸化炭素を交換するかをよりよく理解するのに役立ち、社会全体に利益をもたらす数多くの応用化を可能にします。

私は来年、マンズフィールド・フェローシップ・プログラムの一員になり、日本の同僚から学び、日本文化に浸ることを楽しみにしています。フェローシップの後には、NASA/JAXAの多数のパートナーシップ事業の一つに取り組み、将来の両国間の国際協力の実現に貢献したいと願っています。

■このニュースレターは、関連団体、実施事業関係者のほか、以下の方々にお送りしています。

- ・当財団スタッフとの面談、取材、名刺交換、メール通信等により個人情報をご提供いただいた方
- ・当財団主催/後援のセミナー、講演会等にご参加いただいた方

■皆様からいただきました個人情報は当財団の主催または後援によるセミナー等のご案内の送付に使わせていただきます。

■ニュースレターの新規登録・配信停止または登録内容の変更は、お手数ですが以下のメールまでお知らせください。

tokyoinfo@mansfieldfdn.org

[日本語トップに戻る↑](#)

Maureen and Mike Mansfield Foundation Monthly Newsletter

December 29, 2022

Season's greetings and happy holidays from the Maureen and Mike Mansfield Foundation.
We hope you have a wonderful holiday period and look forward to a great 2023!

Contents

[Hiring in the Mansfield Foundation Tokyo Office](#)

[Mansfield Reception at U.S. Ambassador's Residence](#)

[Mansfield Fellow Update](#)

[Other Mansfield Foundation Program News](#)

[Media and Publication](#)

[Recruitment of Program Participant](#)

[Event Announcement](#)

[Introduction of Mansfield Fellows from the 27th Class \(1\)](#)

Hiring in the Mansfield Foundation Tokyo Office

The Mansfield Foundation Tokyo office is seeking a Program and Administrative Assistant in Japan. Please see for further information (in Japanese) [here](#).

Mansfield Reception at the U.S. Ambassador's Residence

On December 14, the Ambassador Mansfield Dinner was held at the Ambassador's Residence to celebrate the work of the Maureen and Mike Mansfield Foundation. The dinner featured a reception, which included the current 26th class of Mansfield Fellows, alumni fellows in Japan, corporate, government and other organization supporters for the Foundation, and was hosted by U.S. Ambassador to Japan Rahm Emanuel.

U.S. Ambassador to Japan Rahm Emanuel [Twitter](#)



Ambassador Emanuel makes opening remarks



Frank Jannuzi, President and CEO, Mansfield Foundation



MFP20 Mr. Jeffrey Kim delivers a toast



Mansfield Fellows Update

[About the Mansfield Fellowship Program](#)

The First 6 Months of MFP26 Fellows' Activities (July to December, 2022)

Japanese Language Study (in Kanazawa City, Ishikawa) and Pre-Placement Orientations in July and August, 2022



Courtesy call to Ishikawa Gov. Hiroshi Hase



Japanese Training in Kanazawa



Welcome Reception on 9/1

[National Personnel Authority's website on Mansfield Fellowship Program \(Japanese\)](#)

GRIPS-Mansfield Joint Seminar by Mansfield Fellow:

On December 6, [the National Graduate Institute for Policy Studies \(GRIPS\)](#) and the Mansfield Foundation held the 1st Joint Seminar of this class virtually. In this seminar, **Ms. Ting Mei Chau** (Budget Director, Fund Management, Federal Insurance and Mitigation Administration, Federal Emergency Management Agency (FEMA) U.S. Department of Homeland Security), a member of the current 26th Class of Mansfield Fellows, talked about "Overview of the U.S. Disaster and Emergency Management System – FEMA, A comparison of Japan and Puerto Rico Case Study", moderated by Professor Masaru Sugawara of GRIPS. It was a fulfilling seminar with many questions from an active audience.

First and Second Kumamoto University–Mansfield Foundation Joint Lectures by Mansfield Fellows Held:

[Kumamoto University](#) and the Mansfield Foundation jointly implemented the first and second joint lectures in a 3–part series for students of Kumamoto University on December 9 and 16 respectively. In the first seminar, **Dr. Lili Duan** (Policy Analyst, Office of Regulatory Program, Office of Product Evaluation and Quality, Center for Devices and Radiological Health, Food and Drug Administration (FDA)), a member of the current 26th Class of Mansfield Fellows, lectured on FDA and encouraged students with her own life story from growing up in Asia to studying and developing her career in the U.S., sharing her challenges and learnings in the U.S. as an Asian American. In the second lecture, **Ms. Katherine Cook** (Operations Analyst, Gateway Deep Space Logistics Project Office, National Aeronautics and Space Administration(NASA)), who is also a 26th Mansfield Fellow, talked about a planned space station in lunar orbit called Gateway, discussing challenges and lessons from the past decade and considering approaches for success in the future.

Kumamoto University [Twitter](#) | [Facebook](#) | [Instagram](#)

26th Fellow Reports Tsuruga City, Fukui:

Captain James Kyle Takeo Arita (U.S. Air Force) made a report both in English and Japanese on Tsuruga City, Fukui Prefecture based on his experience when he visited the city for upon the request of the Ministry of Foreign Affairs in September. Please join his experience by reading it!



[English](#)

[Japanese](#)

MFP26: Supplementary Seminars for Understanding of Japan:

- ◆ On September 27, **Mr. David Boling**, Director of Japan and Asian Trade of Eurasia Group and former Mansfield Fellow) gave the MFP26 fellows useful advice and practical knowledge in preparation for their work within Japanese administrative offices, using his past fellowship experience.
- ◆ On October 11, the Mansfield Foundation Tokyo Office implemented a supplementary seminar for MFP26, inviting **Professor Kiichi Fujiwara** of the University of Tokyo to provide a briefing on understanding Japanese politics.
- ◆ On November 29, the Mansfield Foundation Tokyo Office implemented a supplementary seminar for MFP 26, inviting [Professor Mieko Nakabayashi, a Distinguished Fellow](#) of the organization, to discuss on Japanese politics and political parties.



Mr. David Boling



Professor Kiichi Fujiwara



Professor Mieko Nakabayashi

MFP27: Pre-Departure Webinar Series on Understanding of Japan:

◆ On October 11, the Mansfield Foundation Washington D.C. Office held a webinar on Japanese politics, inviting **Burgess Professor Emeritus Gerald Curtis** of Columbia University. Professor Curtis is [Chair of the Mansfield Foundation's Board of Directors](#).

◆ On November 30, the Mansfield Foundation Washington D.C. Office held a webinar on Japan's challenging issues of aging society and security, inviting **Professor Andrew Oros** of Washington College. Professor Oros is a member of the Foundation's [U.S.-Japan Network for the Future](#) (Cohort 2) and [Mansfield-Luce Asia Scholars Network](#) (Cohort 1).

MFP28: New Fellows are Selected:

In mid-November, the Mansfield Foundation Washington D.C. Office selected new Mansfield Fellows of the 28th Class, who will be Mansfield Fellows for two years from July 2023 to June 2025. For the first year, the 28th Mansfield Fellows will attend Japanese language lessons and deepen understanding of Japan through a webinar series the Foundation prepares, and will then spend their second year in Japan from July 2024 to June 2025. Details of the 28th Mansfield Fellows will be announced later.

Alumni Fellow Updates:

◆ **Mr. Jeffery J. Kim** (MFP20, former Captain with the U.S. Navy) was [appointed as Executive Director of The Japan-United States Educational Commission \("JUSEC", "Fulbright Japan"\)](#).

◆ **Mr. David Boling** (MFP5), Director, Japan and Asian Trade of Eurasia Group spoke at the GZERO SUMMIT Japan 2022 held on September 28, in which the world's thought leaders discussed global issues. You can view the summit [here](#).

Other Mansfield Foundation Program News

[U.S.–Japan Network for the Future Program](#)

The scholars of Cohort 6, who participate in the program from the summer 2022 to the summer 2024, were announced in August, and they joined the workshop that was held in Washington, D.C. from August 31 to September 2 when the scholars of Cohort 5 also gathered for their capstone events

[Announcement of Cohort 6 \(news release\)](#)

[Profile of Cohort6 Scholars](#)

[Mansfield–PhRMA Research Scholars Program](#)

The Mansfield Foundation announced eight Cohort 8 scholars, who are young researchers from the pharmaceutical and development field. This group joined the U.S. Study Tour for two weeks from September 11 to September 25 to meet senior experts in major pharmaceutical research programs, including managers of pharmaceutical research programs and translational research in U.S. government agencies, as well as experts from universities, pharmaceutical companies, and the policy community in Washington, D.C., Philadelphia, and Boston.

[Announcement of Cohort 8 \(news release\)](#)



Other Mansfield Foundation Program Events

◆ On October 20, the Mansfield Foundation hosted a [U.S.–Japan Space Forum](#)–related public event, “**Space Tech & Maritime Domain Awareness in the South China Sea**” at Mita Campus, Keio University.

◆ On December 13, the Mansfield Foundation held another public event, “**Building a Cyber Workforce Through the U.S.–Japan Alliance**” at Hongo Campus, the University of Tokyo.

Funding for both events were provided by the Mansfield Foundation and the U.S. Embassy in Tokyo.



Space Tech & Maritime Domain Awareness in the South China Sea



Building a Cyber Workforce Through the U.S.-Japan Alliance

CFM ([Corporate Friends of Mansfield](#)) Policy Event

On December 14, the Mansfield Foundation hosted a CFM Policy Event at the International House of Japan (Tokyo), inviting Ms. Rika Nakazawa, Group Vice President, New Ventures & Innovation, NTT, as a speaker to talk about a mix of current trends in cybersecurity and how corporate social responsibility (CSR) and ESG can power the recruitment and retention of diverse candidates in this field to CFM members.



Board Members Pay A Courtesy Call to Foreign Minister Hayashi

On October 25, members of the [Mansfield Foundation's Board of Directors](#) paid a courtesy call to Japan's Foreign Minister Yoshimasa Hayashi.



Media & Publication

■ On October 31, Professor Mieko Nakabayashi (Waseda University), a Mansfield Foundation Distinguished Fellow, published her new book with co-author Mr. Heizo Takenaka “[挑戦を受ける民主主義と資本主義: ショックセラピー2035](#)” (Tokyo Shoseki).

■ Frank Jannuzi, President and CEO of the Mansfield Foundation was interviewed by Kyodo News, and the article can be viewed [here](#). (“Ex-Biden adviser urges Japan to boost intelligence sharing with U.S.” November 6, 2022)

■ On December 15, Colin Timmerman, a Mansfield Fellow of the 26th class, published an article on Congressional policy on China via the National Institute for the Defense Studies’ NIDS Commentary publication. You can find his commentary [here](#).

Recruitment of Program Participants

■ Call for Applications for the [Maureen Mansfield Women’s Trilateral Youth Empowerment](#) Program. (Deadline, January 10, 2023, U.S. Eastern Standard Time)

Ari Lee at alee@mansfieldfdn.org

Event Announcement

■ On Tuesday, January 24, 2023, GRIPS and the Mansfield Foundation will hold a joint seminar, “Introduction of USA Food and Drug Administration (FDA)” featuring Dr. Lili Duan, a Mansfield Fellow of the 26th Class. Please register the link below.

Registration: https://grips-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_ZUqjyObRShajeAiDvjfEow

For further information: [Flyer \(PDF\)](#)

Introduction of Mansfield Fellows from the 27th Class (1)

The Mansfield Foundation Tokyo Office introduces five Mansfield Fellows out of ten, **Captain Antoinio Arnold, Ms. Martha C. Engstrom, Mr. Lance Garrison, Ms. Angelina Loverde** and **Ms. Beth Weinstein**, from the 27th class of the [Mansfield Fellowship Program](#), who are scheduled to come to Japan in summer 2023.

Captain Antonio Arnold, MFP27 (2023–2024)

Partner Engagements Planner, Special Operations Command Pacific, U.S. Air Force



Prior to my current position, I served as Outreach and Integrations Officer for the 8th Intelligence Squadron at Joint Base Pearl Harbor–Hickam, Hawaii. The 8th Intelligence Squadron’s analyzes intelligence, surveillance, and reconnaissance (ISR) data gathered via unmanned aerial vehicles (UAV), transforming that data into actionable intelligence for countless customers across the DOD and beyond. While several of our allies in the Indo-Pacific are seeking UAVs for ISR, most have only a nascent ability to exploit the data the platforms produce. So, my commander created my role to act as the focal point for the ever-growing number of the squadron’s exchanges with partners. After leaving that program in the good hands of my 後輩 (junior member), I transferred to Special Operations Command Pacific where, continuing the theme, I currently work in the Special Operations Intelligence Directorate’s Plans Division as a Partner Engagements Planner.

I lived in Okinawa from 2016 to 2019, working as Intelligence Support to the 909th Air Refueling Squadron at Kadena Air Base. Okinawa is known as the “Keystone of the Pacific” for the critical role it plays in achieving the U.S.’s national security objectives in the region. Also, if you’re familiar with aerial refueling, you might have heard the phrase, “No One Kicks Ass Without Tanker Gas”; if not, it’s a colloquial phrase in that community meaning something like, “aerial refueling is necessary for almost every flying mission”. So, Okinawa’s strategic location, my unit’s support to most flying missions in the region, along with the timeframe I worked in Okinawa, permitted me to participate in countless major (and occasionally historic) joint, bilateral, and multilateral exercises and deterrence operations in East Asia. I also ran a Japan–U.S. Bilateral Leadership Organization while in Okinawa, organizing dozens of events that helped build relationships between officers from both the U.S. Armed Forces and the Self–Defense Forces. For these efforts at bridging the gap between the two militaries, I was awarded the 2018 Japan American Air Force Goodwill Association (JAAGA) Award by former SDF Chief of Staff of the Joint Staff, GEN IWASAKI Shigeru (ret.). Since then, Iwasaki-san became my mentor, and his advice played a critical role in helping me craft my application for the Mansfield Fellowship.

All that to say that I’ve been lucky to work in the sphere of building relationships between the U.S. and our partners and allies—particularly Japan—for the whole of my career, so I am very grateful to have been given a chance to deepen that experience as a Mansfield Fellow. As a Fellow, I specifically want to understand how Japan is embracing force multipliers and asymmetric capabilities to address its demographic shifts. It’s no secret that, in East Asia key U.S. allies and obstinate U.S. adversaries alike are aging, so questions about how those demographics will affect national security and shape the future world order are critical areas for consideration. But I know that the U.S.–Japan alliance will remain the “most important bilateral relationship in the world, bar none” far into the future, so above all, I am looking forward to developing more of the relationships that are the backbone of that alliance.

Martha C. Engstrom, MFP27 (2023–2024)

Supervisory Health Scientist and Evaluation Branch Chief, Office of Science, Center for Tobacco Products, Food and Drug Administration, U.S. Department of Health and Human Services



I grew up in a small town (with fewer than 2000 people!) in rural Louisiana. Even as a child, I knew that there was much more out there in the world—and I wanted to see and experience as much of it as I could. Since then, I have been to about 30 countries, including several in Asia, but until becoming a Mansfield Fellow, I had not yet had an opportunity to go to Japan. Throughout my career as a health scientist, I have had the privilege of collaborating with many different groups and organizations. During a deployment to San Juan, Puerto Rico to support hurricane recovery efforts, I worked with the Department of Health on an asthma prevention program, and while living in Astana, Kazakhstan, I worked with college students and

other researchers on a survey of health attitudes. Through these experiences, I learned about cultural variations around the world, and I was able to see and do research in different contexts. I enjoyed living and working, as well as meeting people and making friends, in countries and cultures different than my own. I believe the Mansfield Fellowship will provide similar opportunities, and I am looking forward to living and learning in Japan.

Much of my work has focused on reducing the death and disease caused by tobacco use. I have worked in tobacco control programs in the U.S. in the states of Wyoming and Georgia, and then at the national level, first at the Centers for Disease Control and Prevention, and now at the Food and Drug Administration (FDA). In my current position, I serve as the Evaluation Branch Chief in the Office of Science of the Center for Tobacco Products at FDA, where I oversee research, surveillance, and evaluation studies to inform tobacco regulation.

Tobacco use remains one of the leading preventable causes of disease and death throughout the world. The governments of Japan and the U.S. differ in how they regulate tobacco in many important ways. An important challenge for both U.S. and Japanese regulatory agencies is the recent proliferation of new tobacco products in the marketplace, such as heated products and nicotine pouches. What I learn during my fellowship about Japan's challenges, successes, and any unintended consequences related to regulating these new tobacco products will be used by FDA to inform and support tobacco regulation in the U.S.

Lance Garrison, MFP27 (2023–2024)

Physical Scientist, Office of Radiological Security, National Nuclear Security Administration, U.S. Department of Energy (DOE)



I am beyond excited to spend a year building U.S.–Japan relationships through the Mansfield Fellowship, both for the service to our nations and the opportunity to live in Tokyo and learn and experience Japanese culture first-hand.

In college I walked into a local dojo and quickly fell in love with traditional Japanese martial arts. I have now practiced budo (武道) for around 10 years. In 2008 I took the opportunity to travel to Japan to train with budo masters and learn about budo history and culture. Also during college a friend introduced me to Hayao Miyazaki's anime "Spirited Away", an experience that kindled my interest in anime. My favorite anime is "Fullmetal Alchemist".

Over the years these interests expanded to include Japanese manga, history, language, culture, and food. I pursued these broader cultural interests when I returned to Japan in 2019 as a tourist with my wife, who shares these interests. In particular, we loved the history and beauty of Higashiyama in Kyoto.

Prior to 2021, I had never dreamed that I could combine my personal interest in Japan with my career. I am a nuclear physicist but when I completed my Ph.D. I decided that a career in public service would be more fulfilling than a career in a laboratory. I therefore started a career at the U.S. Department of Energy's (DOE) National Nuclear Security Administration. Specifically, I work in the Office of Radiological Security, where we aim to prevent radioactive materials from being used in an act of terrorism. This includes supporting physical security systems, remote monitoring, law enforcement training, disposition of radioactive materials, and (my specialty) encouraging the replacement of radioactive materials with alternative technologies.

In the summer of 2021 the DOE emailed all staff inviting applications to the Mansfield Fellowship Program. I spoke to colleagues and learned that DOE's nuclear security and fundamental science research collaboration with Japan is extensive and interesting. In fact, Japan is DOE's strongest bilateral partner! Interesting collaboration opportunities include domestic and international policy for nuclear and radiological security, law enforcement training for nuclear or radiological incidents, nuclear and radiological material management, nuclear fusion science, neutron science, and high energy physics, among other topics. With these professional opportunities on top of my personal interest in Japan, how could I not apply?

I am so grateful for this opportunity to serve our two nations in important and impactful work while building relationships that will enhance coordination for years to come. I am grateful for all of the support provided by the Mansfield Foundation to arrange effective placements and ensure Fellows are prepared. I look forward to meeting and working with all of you!

Angelina Loverde, MFP27 (2023–2024)

Management Analyst, Office of Management and Budget, National Nuclear Security Administration, U.S. Department of Energy



Yoroshiku onegai shimasu!

I am a Management Analyst in the Department of Energy's National Nuclear Security Administration. I develop Standard Operating Procedures to improve processes. I also assist with assessments of program offices' quality management practices.

I recently completed a one-year rotation as the Executive Assistant in the Office of the Deputy Secretary. I managed scheduling hundreds of meetings with the Deputy Secretary, including bilateral meetings with Ambassadors, Ministers, and Prime Ministers. I assisted with protocol coordination on visits from the Japanese government's Ministry of Economy, Trade, and Industry (METI). I was also fortunate to see U.S. Ambassador to Japan Rahm Emanuel during his visit to the Department of Energy.

My career at the Department of Energy started as a Graduate Fellow in the National Nuclear Security Administration's Office of Global Material Security. I coordinated inputs to reports and memos for nuclear security, radiological security, and nuclear smuggling detection and deterrence programs. A highlight of my experience were my travels to Kazakhstan, China, and South Africa to assist with training workshops and observe nuclear security diplomacy.

Before the Department of Energy, I served as a Peace Corps Volunteer in China (2013–2015). I taught English to university students in Southwest China in Guizhou province. Prior to that, I interned at the White House in the Office of Presidential Personnel and assisted with selecting political appointees.

I was born in Chiang Mai, Thailand and lived there for 13 years. I went to high school in the United States and completed my senior year at The American School in Switzerland (TASIS) in Lugano, Switzerland. I studied International Affairs at James Madison University and I received a Master of Public Policy at the University of Virginia. I completed a semester abroad at Tsinghua University in Beijing, China. I speak English, Thai, and Chinese.

As a Mansfield Fellow, I will study the Japanese government's Green Growth Strategy to draw applicable policies to contribute to DOE initiatives on reducing carbon emissions in the United States. I am also interested to increase my understanding of nuclear security cooperation between the United States and Japan. I will also observe Japanese business practices and quality principles that can be applied to the U.S. federal government.

I am extremely excited to be a Mansfield Fellow. I have not been to Japan yet and I look forward to learning everything I can about Japan.

Beth Weinstein, MFP27 (2023–2024)

Observatory Manager, National Aeronautics and Space Administration (NASA)



Over my 21 years at the National Aeronautics and Space Administration (NASA), I have worked in a variety of roles from data distribution to procuring and building spacecraft to developing and enacting policy. These experiences have taught me that space utilization and exploration is a global endeavor, and NASA would not be successful without its international partners. I have seen the benefits of international cooperation firsthand by working with our Japanese counterparts on various space missions and traveling to Japan for work. For example, I participated in the Advanced Spaceborne Thermal Emission and Reflection

Radiometer (ASTER) instrument data interface meeting, which was built in Japan for the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI), and integrated the Global Precipitation Measurement (GPM) observatory, a joint Earth-observing mission between NASA and the Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA). Working in Japan for six months alongside the JAXA team demonstrated the strong partnership between our countries and how much we can accomplish together.

I am currently the Plankton, Aerosol, Cloud, ocean Ecosystem (PACE) Observatory Manager, where I lead a team of engineers (e.g., electrical, thermal, mechanical, propulsion, navigation and control, radio frequency) to define, design, build, and integrate a spacecraft to support the mission's instruments. This mission had numerous international contributions, including one of the three instruments. PACE's free data will help us better understand how the ocean and atmosphere exchange carbon dioxide and will enable numerous applications that will benefit society as a whole. I am truly excited to be part of the next Mansfield Fellowship class and look forward to learning from colleagues and being immersed in the culture. After the Fellowship, I hope to work on one of the numerous NASA/JAXA partnership projects and enable future international cooperation between the countries.

■We send this newsletter to organizations/persons related to the Mansfield Foundation's programs, and:

•Those who provide us with personal information through meetings, business-card exchanges, interviews, and e-mail correspondences with the Mansfield Foundation's staff

•Those who attended past events hosted or sponsored by the Mansfield Foundation

■We would like to use the personal information provided in the manners above when we send invitations of events hosted or sponsored by the Mansfield Foundation.

■Please contact the email address below to subscribe/unsubscribe or to change your personal information.

tokyoinfo@mansfieldfdn.org

[Back to the Top ↑](#)

[モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団](#)
[日本語ホームページ](#)

